

平成23年2月25日

各位

日本アルコール販売株式会社
代表取締役会長兼社長 雨貝 二郎

中期経営ビジョン策定に関するお知らせ

当社は、平成23年2月25日開催の取締役会において、平成23年度から平成25年度までの中期経営ビジョンを策定しましたので、下記のとおりお知らせ致します。

完全自由化から6年目を迎え、アルコール産業においては、原料アルコール価格の高止まりが危ぶまれるなど、引き続き、厳しい事業環境が続くものと考えられ、かかる状況の下、新たに中期経営ビジョンを策定し、グループ各社のベクトルを揃え、強靱な事業運営に取り組んでまいります。

記

I. 基本方針

アルコール部門においては、ご利用頂いておりますお客さまに対し安全で安心な商品の安定供給に努めることを最重点目標と位置付け取り組んでまいります。

また、工業薬品部門、食品添加剤部門におきまして、将来のグループ収益の柱と捉え、集中的に経営資源を投入し、積極的な事業展開に取り組んでまいります。

II. 主要施策

1. アルコールの安定供給の維持

以下の方策により原価低減を推進するとともに安全で安心な商品の安定供給に努めてまいります。

(1) 品質の向上について

- 発酵アルコールについて、更なる品質向上の追求と製造コストの低減化を図る努力を推し進めます。
- おいたち管理、Q i b i x 専用ロジスティックスなどグループ品質管理の徹底に努めます。

(2) 原料調達の安定化について

- 発酵アルコールについて、契約方法の見直しを図ることで低廉・安定調達の継続を図るとともに併せて原料受入れ費用の削減にも努めます。

(3) 安定供給について

- 各工場における原単位の向上を図りつつ、サプライチェーンの最適化により、トータルコストの削減に取り組んでまいります。
- 継続的に取引を頂いておりますお客さまに対し、原料情報、品質管理の現状等を定期的に報告させて頂くほか、定例の工場見学会等を実施いたします。

- 発酵アルコールについて、原料アルコール価格の高止まりが懸念される状況下、継続的に取引を頂いておりますお客さまに対し、出来る限りの低廉・安定供給に努めます。
- 合成アルコールについて、メーカー各社さまとの信頼関係をより強固なものとし、合成アルコール市場の健全な維持に努めます。

2. 工業薬品、食品添加剤部門における収益の強化

新規の設備投資を円滑に実現し、速やかに稼働率を上げ、新規のお客さまとの取引拡大を目指します。

- (1) カセイヒン
 - 継続取引先との取引商品の拡大を図ってまいります。
- (2) 医薬部外品
 - BCPの一環としての備蓄用品又は大手スーパーでの定番商品としての販売を基本とした営業に努めます。
- (3) 食品添加剤
 - 自社製品とOEMとの均衡に留意しつつ、積極的な販路復活・拡大に努めます。

3. 技術力の強化

グループ各社の多様な技術課題に対処し、かつ、グループ技術力の飛躍的な強化を図るため、優秀な人材を集中するとともに最先端の試験研究設備を整備し、工業用アルコール分野におけるCOEを目指した技術センター（仮称）の設立を図ってまいります。

4. 人材の力の向上

日本アルコール産業グループのトップマネジメントを担う人材の育成を主眼とし、グループ横断の各種研修体制の充実やグループ企業間の人事交流等の施策を積極的に展開してまいります。

III. 中期経営目標（連結）

	平成25年度目標
連結営業利益目標	20億円以上
その他の目標	銀行借入金を50億円以上返済

以上